

やっぱり

地方議員年金制度は廃止を 議員アンケートより

埼玉県市民ネットワークは、変えなきゃ、議会2007自治体議会改革フォーラムに賛同しています。

「我が国は現在多くの貧困層が存在し、各種の共済組合、船員保険等と関係なき人が4700万人以上あります。この現存する状況で、立法者である私も、先憂後楽の立場を忘れて、年金制度を法制化することは賛成できない」(1958年4月『国会議員互助年金法』制定時に唯一反対討論に立った八木幸吉参議院議員の討論より)



もともと無理な制度設計

国民年金が25年以上掛け金を払わなければ受給資格を得られず掛け金も戻らないのに対して、地方議員年金は3期12年で受給資格が得られる上に、国民年金や厚生年金とのダブル受給も出来ます。12年未満で議員を退職の場合でも掛け金の50%以上が戻るなど、議員が非常に優遇された制度です。

本人が亡くなっても同居の子供や孫にまで受給資格が発生するなど、もともとの制度設計に無理がある上に、1999年からの「平成の大合併」により当時約6万人いた地方議員も半数近くに激減。このため市町村議員の積み立て金が2011年度には枯渇する事態になっています。

議員へのアンケートを実施

2006年、国会議員の年金は廃止されましたが、地方議員年金については国の検討委員会、昨年初めて廃止を含めた見直し案が議論されました。

初めて俎上に上った「廃止」案ですが、議員への配慮が大きいのが市民の実感で

す。

埼玉県市民ネットワークでは直接議員へアンケート用紙を送り、税金の使い道を決める立場にある議員として、また自分自身の問題として、議員年金制度をどう考えるか聞きました。

アンケート内容は年齢、議員期数、議員年金のほか加入している年金、自分の市町の年金手当て予算額、年金制度の今後については「国の検討会の見直し案と全国市議長の独自案」から賛同する案を選択していただきました。

アンケート結果から

県内4市2町約200人の議員へ郵送、20人から回答がありました。回答者は1期目3人、2期目9人と期数の若い議員からの回答が半数を超えました。また議員年金のほかに加入している公的年金は20人中16人が国民年金でした。

市町村税から議員年金に投入されている年間予算は、人口120万人のさいたま市で7860万円、50万人の川口市で4900万円、30万人の所沢市で3800万円、12万人の鴻巣市で2300万円。

3万5千人の三芳町、寄居町で750万円でした。今後の制度のあり方についての選択結果は次のようでした。

- 国の検討会A案 1人
- 国の検討会B案 0人
- 国の検討会廃止案 1人
- 議長会見直し案 3人
- 議長会廃止案 11人
- 回答なし 4人

多くの国民が老後の不安を抱えながら暮らしています。埼玉県市民ネットワークは公的年金とダブルに給付される議員年金は議員自らが手放し、国民誰もが十分に生活できる年金の一元化の実現に向けて力を合わせるべきと考えます。

(運営委員会)



国検討会の見直し案 と 全国市議会議長会の独自案

	現行 ▼	国検討会案			議長会案	
		A案 ▼	B案 ▼	廃止案 ▼	見直し案 ▼	廃止の場合 ▼
給付水準	平均 103万円	10.0% カット	5.0% カット	一時金は 掛金の 63%支給	カット なし	一時金は 掛金の 80%支給
掛金率	16.0%	17.5%	17.0%	—	16.0%	—
特別掛金率	7.5%	13.0%	10.0%	—	7.5%	—
税の負担率	12.0%	14.5%	14.0%	—	16.0%	—
特別掛金の 税負担率	0.0%	なし	なし	—	7.5%	—
激変緩和 国負担率	4.5%	7.8%	14.0%	—	14.0%	—

税
税
税

NO.47

埼玉県市民ネットワーク

共同代表 神田 順子
336-0031 さいたま市南区鹿手袋 2-4-15-101
eメール sai-pring-net@asahi-net.email.ne.jp
TEL/FAX 048-839-6671
http://sai-net.cool.ne.jp

シリーズ『議会改革』4

議会基本条例の取り組み 第1回 所沢市議会

全国の地方議会が議会のありべき姿や責務を定めた議会基本条例の制定が盛んになっています。全国では104自治体、埼玉県内でも久喜市、所沢市、鶴ヶ島市、大利根町、ときがわ町、三芳町、昨年12月にはさいたま市などで制定されています。

議会と議員のあるべき姿、住民や首長との関係の明確化の宣言などが盛り込まれているようですが、ポイントには住民との対話をどうするか、議員同士の自由討議が実現できるかではないでしょうか。

第1回は所沢市議会の報告です。

09年3月制定の議会基本条例は、議員が前文から条文まですべて作り上げました。

答弁を明確にする「一問一答」「質問席の設置」「全議員の議決賛否の公表」「委員会議事録のHP公開」が進み、今後、年に2回の「議会報告会」を行います。公聴会、専門的知見の活用、委員会での自由討議など議論を深める仕組みも活用されはじめています。

改革を推進した大きな支えは何より市民の関心です。インターネット中継のアクセス数増加や委員会の傍聴などが活発に行われ、議会改革が加速化したのです。

市民の監視と関心でさらに「眠れる議会」の目を覚ませよう……

市民ネットワーク所沢 末吉

地域ネットワークの活動から

松葉を使った ダイオキシシン調査を 実施



越谷市民ネットは昨年、松葉を使った大気中のダイオキシシンの調査を行いました。市は年に4回の測定を行っています。測定日によって結果がまちまちです。毎日空気を吸っている私たちからすれば毎日でも測定して欲しいところ。

そこで考案されたのが松葉調査です。松葉が呼吸したときに葉の組織に吸着されたダイオキシシンを測定します。松葉も私たちと同様に毎日呼吸していますから、より私たちの生活実態に近い結果が得られるといわれています。

調査に必要な松葉の一部は小学生が環境教育の授業で集めてくれました。測定結果は大気中のダイオキシシン類が0.19 pg TEQ/m³。市の年間平均の数値よりも高めです。法定基準値以下ですが、全国平均の約4倍という高い濃度。今後も調査を続けながら、きれいな空気を取り戻す努力を続けていきたいと思っています。

越谷市民ネットワーク 武井

「危険な道路アンケート」 ミニフォーラムで成果に

さいたま市ネットでは昨年「危険な道路アンケート」を実施し、アンケートで指摘の多かったさいたま市の東側を縦断している産業道路でフィールドワークを2回行いました。

その後、市道路管理課長を招いて道路行政についての説明会（ミニフォーラム）を開催し、アンケート結果とフィールドワークで把握した危険箇所を地図に落とし、写真と共に提示しました。

行政からは、幅員を広げることは用地確保に地域の理解や費用が必要なのですぐには難しいが、出来ることについては取り組みたいとのことでした。また、アンケートで危険であると指摘された交差点には、ガードレールが設置されました。

今回、個人の意見をまとめ具体的に行政に伝えることで、より早い対応を得ることができました。

生活者ネットワークさいたま市 下川



◆参加するなら市民ネットワーク◆

名称	代表	代理人	〒	住所	TEL/FAX
越谷市民ネットワーク	保田登美子	辻 浩司	343-0023	越谷市東越谷3-8-5	048-962-8052
生き生きネットワーク鴻巣	河野弘子		369-0121	鴻巣市吹上富士見3-1-12-503竹花方	048-548-5750
市民ネットワーク所沢	渡辺恭子	末吉美帆子	359-1141	所沢市小手指町1-16-10-2010-YALPOホ	04-2921-1414
富士見市民ネットワーク	加藤久美子		354-0017	富士見市針ヶ谷1-26-18加藤方	049-251-8299
生活者ネットワークさいたま市	内田恵津子		330-0053	さいたま市浦和区前地3-3-12内田方	048-887-2365
ネットワーク三芳	上田千津子	神田順子	354-0044	入間郡三芳町北永井871-5-5-102	049-259-5196
まちネットワークよひい	大北秀子		369-1203	寄居町今市212-1大北方	048-581-9948